

### 1 玉宝寺の五百羅漢

はいほうじやくひゃくらかん  
天文3年(1534)小田原北条氏の家臣・増和伊予守の建立で、宝暦7年(1757)に木彫りの五百羅漢像を完成させた。本堂に所狭しと並列するさまは壯觀である。



### 2 久野古墳群

くのふんぐん  
久野古墳群は「久野百塚」「久野九十九塚」といわれるほど数多くの古墳が分布しており、120基ほどあったと考えられている。1号墳は「百塚の王」といわれ、直径は60mを超えると考えられている。4号及び15号墳は復元され、見学できるようになっている。



### 3 総世寺

そうせいじ  
大森信濃守頼明の子である最乗寺十世安叟禅師により創設された。天正18年(1590)の小田原合戦では羽柴秀次が陣を張っている。総門をくぐったところにあるカヤは市の天然記念物となっている。



### 4 中世集石墓

ちゅうせいしゆせきぼ  
敷石遺構には大・小126個ほどの河原石が敷かれており、縄文時代晚期から弥生時代の敷石住居址と推定されたが、最近の研究では集石墓といわれる中世の墓であると考えられている。



### 5 北条幻庵屋敷跡

ほくじょうげんあんやしきあと  
北条幻庵(早雲の末子)はここで生まれ、幼少から箱根権現に入寺した後京都で修業し、北条の一の文化人となった。兄・氏綱の逝去後は、3代氏康・4代氏政の後見人として一族の長老の存在となり、北条氏が滅びる8か月前に97歳でこの屋敷で亡くなったとされる。近くの京福寺の裏手には幻庵の墓がある。



### 6 県立おだわら諏訪の原公園

けんりつおだわらすわのはらこうえん  
小田原フラワーガーデン(約4.2ha)を含む飯田岡・府川・北ノ窪・久野地区にまたがる広さ約69.2haの県立都市公園で、現在も一部整備中である。平成18年3月に開園し、全長169mのローラー滑り台や展望広場にある大型遊具が人気。



### 7 小田原フラワーガーデン

おだわらふらわーがーどん  
トロピカルドーム温室(有料)は、常時300種の熱帯果樹や花が楽しめる。5~11月にはばら、6月には花菖蒲が楽しめるほか、約200種480本以上の梅がある渓流の梅林は壮观。毎週日曜日には花や植木、野菜などの即売会が開かれる。

開館時間 9:00~17:00(トロピカルドーム入館は16:30まで)  
休園日 月曜日、祝日の翌日、年末年始  
入園料(トロピカルドーム) 大人200円、小・中学生100円



### 8 龍泉寺観音堂

りゅうせんじかんどう  
開山は弘治元年(1555)で、本尊十一面觀音、左に薬師如来と十二神将、右にマリア觀音、びんづる、石地蔵を安置する(通常非公開)。境内には享保17年(1732)のもののはじめとする寒菓供養塔が9基並んでおり、非常に珍しい。



### 9 いこいの森

いこいのもり  
豊かな森、清流、きれいな空気。自然に親しみながらバーベキュー、バードゴルフ、木工芸体験、森林浴を楽しめる。夏休み期間にはキャンプ場もオープンする。

休園日 月曜日、祝日の翌日、年末年始  
(夏休み期間は無休)



### 10 こどもの森公園わんぱくらんど・辻村植物公園

こどものもりうえんわんぱくらんど・つじむらしょくぶつこうえん  
こども列車やボニーに乗って遊べるほか、小田原城アドベンチャー(アスレチック施設)などがあり、園内からは広々とした眺望も満喫できる。隣接する辻村植物公園では、世界各国から取り寄せた西洋草花や樹齢約90年の梅林など、四季を通じて美しい景観を見ることができる。



### 11 水之尾毘沙門天

みずのおびしゃもんてん  
伝承によれば、小田原北条氏のころ、小田原城修繕のために城石の切出をしたところ、突然石の間から血が流れ出た。その夜、毘沙門天が夢枕に立ち「わが身を傷つけるな。しからばお前を守護してやろう」といった。そこで切出を中止し、この自然石を本基として、毘沙門天を祀ったという。



### 12 からたちの花の小径・白秋童謡の散歩道

からたちのはのこみちはくわうとうようのさんぽみち  
大正7年(1918)から15年(1926)までを小田原で過ごした北原白秋は、この小径を散策し、代表作「からたちの花」を創作した。市内にはほかに伝肇寺(みみずく寺)や旧居跡などゆかりの地も。小田原駅西口と白秋童謡館を結ぶ約4kmの散歩道には案内板などがあり、白秋童謡に思いを馳せることができる。



### 13 松永記念館・老樺莊

まつながきねんかん・ろうかくじょう  
日本の電力王と呼ばれ、実業界で活躍した松永安左エ門(耳庵)が自宅の敷地内に建設したもの。老樺莊(国登録有形文化財)は、耳庵が晩年過ごしたところで、茶室等の意匠をこらした近代数寄屋建築。庭園は「日本の歴史公園100選」に選定されている。



### 14 古稀庵・板橋の邸園群

こきあん・いたばしのていえんぐん  
明治の併まいを今に残す板橋界隈は、鉄道(東海道線)が国府津まで開通すると、温暖な気候と美しい景観によって、財界人の別荘地や保養地として注目された。明治の元勲・山縣有朋の別邸・古稀庵、元首相・清浦奎吾が建て、後に山縣が古稀庵の別庵として使用した皆春荘(非公開)、実業家・大倉喜八郎の別荘・共壽亭(非公開)などがある。

## 小田原城址公園

天守閣が立つ本丸を中心とした城址公園には、小田原の歴史を学ぶ歴史見聞館や子ども遊園地などがある。梅、つつじ、花菖蒲、あじさいの名所としても知られ、市民や観光客の憩いの場となっている。また、周辺には江戸時代にあった大手門(鐘楼)や幸田口門跡の面影も残っている。



### 小田原城天守閣

昭和35年(1960)に江戸時代の姿に復興され、3重4階の天守に付櫓、渡櫓を付している。内部は歴史資料の展示室になっており、甲冑・刀剣・古文書のほか、小田原の歴史や武家文化の資料などを展示している。また、最上階からは相模湾や小田原市街を一望できる。

開館時間 9:00~17:00(入館 16:30まで)  
休館日 12月第2水曜日、12/31、1/1  
入館料 大人 400円、小中学生 150円  
(歴史見聞館との共通券あり)



### 小田原城歴史見聞館

戦国時代や江戸時代にタイムスリップしたような感覚で、小田原城の始まりから現在に至るまでの歴史を音声や模型、映像で楽しむことができる。

開館時間 9:00~17:00(入館 16:30まで)  
休館日 12/31、1/1  
入館料 大人 300円、小中学生 100円  
(天守閣との共通券あり)



### 城門(馬出門・銅門・常盤木門)

小田原城の正面玄関にあたる馬出門をくぐるとその先に銅門がある。その名は大扉などの飾り金具に銅を用いたことに由来する。銅門をくぐると二の丸で、さらに進むと本丸の正門である常盤木門があり、その名は傍らにたつ巨松にちなみ、永久不变の繁栄を願いつけられた。

## 小田原花ごよみ ~自然と文化に彩を添える花々~

場所	花	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小田原城址公園	梅	●											
	桜		●										
	つつじ			●									
	ふじ				●								
	花菖蒲					●							
	あじさい						●						
小田原フラワーガーデン	はす					●							
	菊						●						
	梅	●											
	桜		●										
辻村植物公園	ばら			●									
	花菖蒲				●								
	あじさい					●							
西海子小路、城山公園	梅	●											
	桜		●										
	ざる菊園						●						

2012.11.50000



久野の里山

わんぱくらんど

## ウォーキングタウンおだわら 散策マップ

### 中央版



お堀と桜

### お問い合わせ

◆小田原市観光課 ☎0465-33-1521  
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/>

◆小田原市観光協会 ☎0465-22-5002  
<http://www.odawara-kankou.com/>

◆小田原駅観光案内所 ☎0465-22-2339

### ウォーキングマナー5箇条

- ・やあ!おはよう明るい挨拶さわやかに
- ・信号で、あわてずあせらず待つ余裕
- ・ひろがるな、参加者だけの道じゃない
- ・自分のゴミ、自分の責任も持ち
- ・歩かせていただく土地に感謝して



### 北条氏政・氏照の墓所

ほうじょうじょうしまさうじてるのぼしょ  
天正18年(1590)に豊臣秀吉が北条氏を攻略した際、徳川家康と外戚関係にあった城主氏直は高野山に追放された。氏政(四代城主で氏直の父)と氏照(八王子城主)の兄弟は切腹させられ、この地にあった北条氏の氏寺、伝心庵に葬られた。



### 荻窪用水

おぎくぼようすい  
江戸時代に小田原藩の水田事業として開かれた用水。工事開始は寛政9年(1797)。箱根町湯本付近で早川の水をせき止め、そこから山間を抜け、荻窪へとつながる全長10.3kmの用水路。ところどころに隧道や開渠が見られる。平成23年(2011)、土木遺産に認定された。



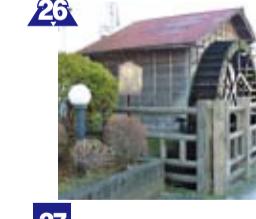
### 萬松院

ばんじゅういん  
小田原城主大久保忠世が、織田信長の命令で自害した松平信康(徳川家康の長男)を供養するために建てた寺。荻窪用水を開通させるには、境内を通さなければならなかったため、交換条件で再建された茅葺きの庫裏が現存し、古文書も多数保存されている。



### 山縣水道水源池

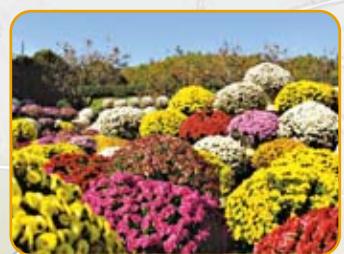
やまがたすいどうすいげんち  
明治の元勲・山縣有朋が、老後を過ごした別荘古稀庵のために作った水道施設の水源池で、荻窪用水から分水している。山縣水道は明治42年(1909)に完成し、総延長は1,860mもある。



### 水車小屋

## 諏訪の原・西部丘陵ウォーキングコース

市街地を見下ろし相模湾を望む、なだらかな丘陵沿いのレジャースポット、文化施設を巡る。

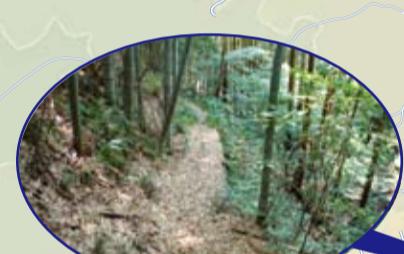
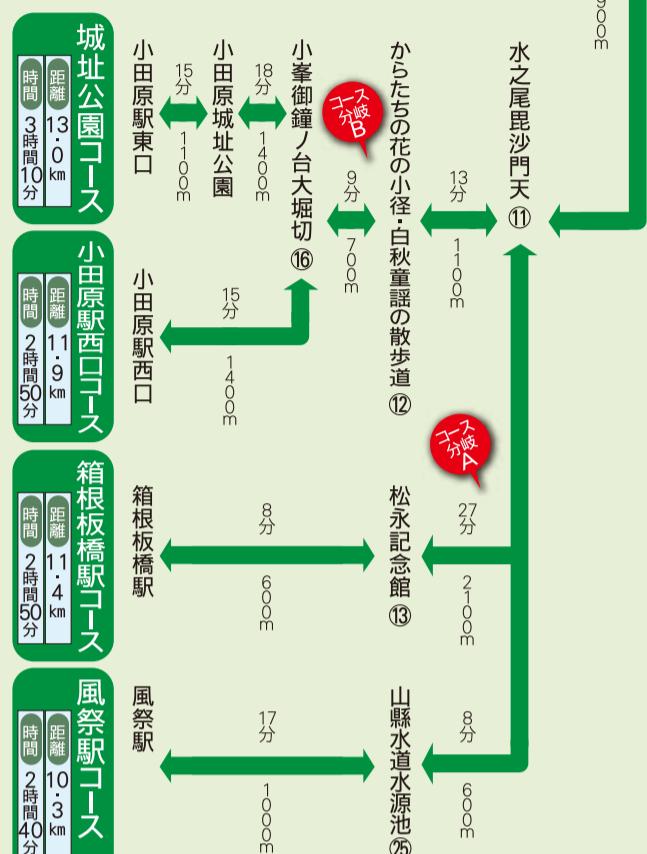


## 久野遺跡巡りコース

緑豊かな尾根づたいに古代人の暮らしのあとを訪ねる。

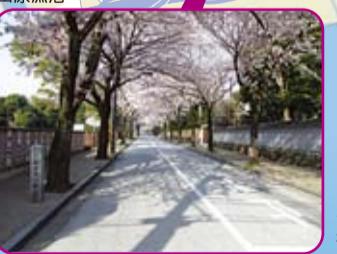
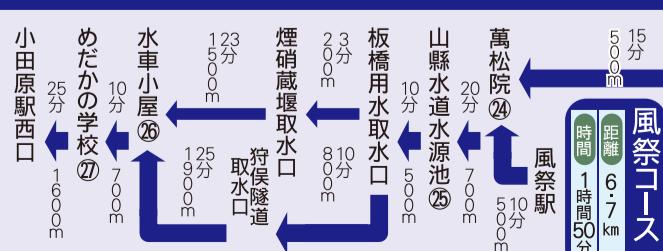
時間 2時間5分

距離 5.7



荻窪用水散策コース

江戸時代に湯本(箱根町)から早川の水を引いて山あいに作られた荻窪用水の流れをたどる。



# 歴史と文化の香るまち散策コース

戦国時代・江戸時代から近代まで小田原城下に培われた文化と風情を訪ねる

時間 2時間20分

距離 8 km

